蓮田研究室 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2020年12月6日
学会名	第32回日本産業技術教育学会関東支部(東京大会)
演題名	量産化を視野にいれたヒトスジシマカのオートサンプリングマシンの開発
発表者	〇*江連宗雅,*髙橋大地, <u>蓮田裕一</u>
内容	感染のリスクがあるなかで、長期の調査が課せられることにより、研究者への負担が大きくなるため、サーベイランスの無人化・自動化が求められている。蚊の季節的消長を明らかにするためには、同じ時期に複数の地域でサーベイランスを行う必要があるので、大量生産が容易な、より安価で小型のオートサンプリングマシンの開発が必要である。本研究では量産化を視野に入れた小型で安価なオートサンプリングマシンを開発することを目的としている。 オクテノールと炭酸ガスの混合物を使用することでより多くのヒトスジシマカを誘引し、開発したオートサンプリングマシンを用いてヒトスジシマカの捕獲に成功した。

関連画像



誘引されるヒトスジシマカ

